



高木たけし



みよし剛史

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

市職員の男女賃金格差

女性の給与は男性の6割

12月議会の一般質問で、みよし剛史市議は、福山市職員の男女の賃金格差の状況について質問し、その改善を求めました。

福山市は2022年度の職員の給与の男女の差異の状況を公表していますが、男性の給与に対する女性の給与の割合は、正規職員で83.3%、非正規の職員69.0%、全職員で61.2%でした。

県内での比較の状況を見よし市議が尋ねたところ、市は「構成が異なるため、比較することはできない」といしましたが、全職員での割合は広島市70.8%、尾道市80.1%、府中市78.6%と、福山市の状況は他市との比較でも大きな格差が生じていると言えます。

女性職員の低賃金『間接差別』では

要因について市は、給与水準の低い非正規職員に対する女性の割合が、「約8割を占めること」としましたが、「職員の給与については、性別に関係なく条例等に基づき適正に支給している」と言います。

しかし、一見性別に関係ない取り扱いでも、運用した結果、どこかに不利益が生じる場合は「間接差別」にあたります。保育補助、事務補助、放課後児童クラブの補助などの業務の多くは女性の職員ですが、時間単価は最低賃金水準です。

男女の格差改善のために、低い賃金の見直しを求められます。

住民の医療サービスが後退

田原診療所を今年度で閉鎖

地域の医療ニーズ調査は不十分

今議会で、福山市民病院が出張診療を行っている山野町の田原診療所を今年度をもって閉鎖する議案が提出され、民生福祉委員会で審査されました。

田原診療所の閉鎖後は、山野ふれあいプラザで実施されている山野診療所に統合する予定です。

委員会でのみよし市議の質疑の中で、月一回の診療に毎回2～3人が診察に訪れる状況が分かりましたが、閉鎖後は家族の送迎が無くては通うことができません。

また、新たな患者が生じていないことを閉鎖の理由にしていますが、田原地域で今後新たに診療を必要とする方がどれくらいいるかなど、詳細な調査は行われていませんでした。

公立病院の責務

医療の継続を

みよし市議は、「出張診療は患者がいる限り継続していく方針」と過去に市民病院が答弁していたことを指摘し、診療所として使用している山野北小学校が昨年度で正式に閉校したことに伴い、目的は「施設を手放すことだ」と言及しました。

また、公共施設の在り方と医療の提供は別問題であり、往診などで地域への医療の継続を求めました。



田原診療所として使用されている旧山野北小

子どもの健やかな成長は親の願い

「給食無償化」継続審査へ

「学校給食への公的補助を強め、完全無償化を求める請願」が今議会に提出され、日本共産党福山市議員団は請願の主旨に賛同し、みよし剛史市議が紹介議員として議会での採択を求めて趣旨説明を行いました。

「義務教育無償」自治体でも実現を

これらの費用は、憲法が「義務教育は無償」としているのとおり、本来、公が担うものであり、そのうち学校給食費については、「自治体等の判断により負担を補助すること」を妨げるものではないと、政府は答弁しています。

少子化対策

負担の軽減急務

趣旨説明では、福山市が年間の出生数を2019年度比で700人増の4300人にしていくことを目標としている者の、大きく乖離している状況を挙げ、その要因として、多くの市民が子育てに感じる不安や負担が経済的負担によるものと回答している調査結果を指摘しました。

3月に継続審査へ

請願は文教経済委員会でも審査されましたが、委員会所属の議員が12月議会での採決は行わないこととしたため、3月議会での判断に持ち越すこととなりました。